

はじめに

根室管内における生乳生産量は24年度をピークに3年連続して減少しています。減少の最大の要因は管内酪農家の離農による経産牛頭数の減少です。個々の経営にあっては、施設投資の足踏みで規模拡大が進んでいない中で、戸当たりの経産牛頭数も約84頭、平均出荷乳量は約645tと維持されており、経営努力の現れといえます。

このような状況で将来に向けた根室酪農の維持発展には、次代の経営を引き継ぐ新規就農者や新規参入者の頑張りが欠かせません。さらには、大型経営等に雇用されている従業員の早期の酪農技術や作業の意味の習得が求められます。

平成27年度の営農技術改善資料では、こうした酪農経営を担う担い手に必要な基本的な技術や作業の意味について整理しました。

今回のテーマを「続・こうしよう！乳牛の飼養管理」としてはありますが、初版は「こうしよう！乳牛の飼養管理」として平成22年度に発刊しています。この資料は、農業関係者や酪農家の方々からの評判がよく、「従業員や後継者の参考書として譲って欲しい」、「奥さんが経営に携わるので読ませたい」等、人気の資料でした。

こうした評判を背景に本資料は、初版を基礎に新たな技術や項目を追加し充実した内容となっています。

書店には置いていない、酪農経営の基礎的な技術や作業する上での留意点が満載です。経営に携わる家族や従業員の皆さんに、是非手にとって読んでいただき、日常作業の確認や疑問点等の解決の一助に活用して頂きたいと思います。

根室農業改良普及センター

所長 三 浦 康 雄